

社会科学習指導案(本時案)

単元名『はたらく人とわたしたちの暮らし』

平成 30 年 8 月 29 日(水) 第 1 校時
 授業会場 3 年西組教室
 3 年西組 男子 18 名 女子 17 名 計 35 名
 指導教官
 授業者

1 本時の位置 (全 20 時間扱い中の第 8 時)

前時： デリシア見学のまとめをした。
 次時： 野菜売り場での工夫について考える。

2 本時の主眼

デリシアを見学して疑問を解決することができたり、新たな疑問を感じていたりしている子どもたちが、デリシア見学をもとにお店で焼くパンと工場から持ってくるパンが両方ある理由を考える場面で、見学の情報や自分の知っていることをもとに予想を立てたり考えたりすることを通して、消費者の生活や好みなどに合わせた自分なりの予想を考えることができる。

3 指導上の留意点

・視覚的に理解することができるように、写真を用意しておく。

4 本時の展開

階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導 入	1 パン売り場について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・パンのところは虫が入ってこないようにしてあった。 ・整理してる人がいた。 ・お店で作っているパンと工場から持ってくるパンがあった 	10	○見学の様子を思い出すことができるように、スクリーンを使い写真を提示する。 「パン売り場はどんな様子だった？」 ○考えていることの裏付けができるように、実物の資料を用意する。
	学習問題 お店でやくパンと工場から持ってくるパンと両方あるのはなぜだろう。			
展 開	2 双方の特徴について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・工場のパンの方がしょうみ期げんが長そう。 ・お店のはやきたてであったかそう。 ・お店でやいてるのは量がたくさんあってたくさんの方が買えそう。 ・お店で作ってるパンの方がやすい。 	10	○結果を記録して残せるように、ワークシートを配布する。 ○それぞれの特徴が分かるように、黒板に表でまとめる。 「違うところはどこだろう」
	学習課題 見学の情報や自分の知っていることをもとに、予想を立てたり考えたりすればよさそう。			
	3 個人で双方のパンがある理由について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・今食べないけど明日のごはんにしたときは工場のパンの方がしょうひ期げんが長いからだめになりなさそう。 ・目の前で作っているところが見えるからあん全そう。 ・工場とお店のそれぞれにしかないパンがあるからどっちもえらべるようにだと思ふ。 ・工場のパンはいろいろ入ってて買いたくない人がいるかもしれないから。 	10	○考える力をつけるために、理由が分からない場合には自分で予想を考えてみるように伝える。 「なんとなくこうかなって想像でいいから理由を考えてみよう」 「わざわざなんでお店で焼いているんだろう」 「1つ書けたら他にどんな理由がありそうか考えてみよう」
終 末	4 全体に発表し、考えを共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・やきたてが食べられるからお店で作っていると思います。 ・お客さんの好きなパンを作ってあげられるようにするためかなと思ふ。 ・お客さんの食べたい時間に合わせたり、好きな方をえらんだりできるからだと思ふ。 	10	○なぜ店舗でパンを焼いているのかについて、他の人の考えを知ることができるように、共有する時間を設ける。 評価：消費者の生活や好みなどに合わせた、自分なりの予想をすることができる。 ワークシート、発言から
	5 本時の追究を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・お店でパンを作っているのはお客さんのために焼きたてを用意したいと思ってるのかなと考えた。 ・お客さんがいつでも食べられるようにいろんなパンを用意しているのかなと思つた。 	5	

板書計画

パン売り場の様子		とくちょう
----------	--	-------

小黒板

お店で焼いているパン	工場のパン
• • •	• • •